

画像とリンク

今回は画像の挿入とリンクの貼り付けについて学んでいきます。

画像の挿入

画像の挿入を学んでいくにあたり、まず新しいフォルダーを用意し、その中に「index.html」ファイルと「images」フォルダーを用意してください。

```
html-practice
|
|_index.html
|
|_images
```

ご自身で好きな画像を用意してもらい、imagesフォルダーへ入れておいてください。

画像を挿入する時に使用されるタグはタグです。

実際は下記のように書きます。

```
<img src="" alt="">
```

src=""

src属性と言い、リソースを参照する場所を指定します。

今回は画像までのファイルパスを記述するのですがその際は、絶対パスではなく、相対パスで記述してください。

alt=""

alt属性と言い、img要素の代替えテキストを記述します。

何らかの原因で画像が読み込めなかったとします。

その時にこの画像が何なのか文字で表示させることができます。

それを踏まえて書いたimg要素がこちらです。

```

```

画像が表示されていたら成功です。

上手く言っていない場合はalt属性に書いたテキストが表示されていると思います。

パスが正しく入力されていない可能性があるのもう1度見直してみてください。（成功した人はファイルパスを意図的に変えてalt属性に書いたテキストが表示されるか確認してください）

imgタグを書く時に注意点

前回書いたタグには開始タグと閉じタグがありましたが、imgタグには閉じタグが存在しません。

なので誤って閉じタグを書かないように気をつけましょう。

リンクの貼り付け

Webページ内に他のWebサイトのリンクをはり付ける時に使用されるタグは[aタグ](#)です。

実際は下記のように書きます。

```
<a href=""></a>
```

href=""

href属性は他のWebページのURLを書くことでWebページ内にリンクを作成できます。

それを踏まえて書いたものがこちらです。

```
<a href="https://www.google.com/">Google</a>
```

href属性にはGoogleのURLが記述してあります。さらに開始タグと閉じタグの間にGoogleと書かれていますが、これがブラウザ上でテキスト表示され、クリックするとGoogleのサイトが表示されます。

[Google](https://www.google.com/)

別タブでリンクを開く方法

今Googleのリンクを押すと同じタブの中でGoogleのサイトが開かれると思います。

サービスの的にそれが適さない場合もあるので別タブで表示させたい時もあります。

その時はtarget属性を[aタグ](#)内に追加しましょう。

実際は下記のように書きます。

```
<a href="https://www.google.com/" target="_blank">Google</a>
```

さっき書いたリンクに書き加えてリロードしてみてください。

再度読み込めたら成功です。

課題

今回用意した画像をクリックすると指定したリンク先へ別タブで表示する実装をやってみてください。

リンクをテキストで表示させる必要はないです。

※確認には画像も必要なのでそちらの提出もお願いします